

学童増設は民間で追いつかないと市が認める

《公立学童の増設に全力をあげるべき》

学童の対象は法律で小6までだが、市では小3まで。高学年の受入れをめざした国基準の達成について、2014年の市議会で井澤市長は5年を目途に「計画的に進めるように大至急検討する」と答弁し、民間学童の誘致を基本方針にした。しかし、その破綻は明らか。来年からの計画に目標を設定できない状況（表参照）。

問）2014年に市民に約束した市長として、この状況をどのようにお考えなのか。

*市長は答弁に立たず

部長答弁）学童のニーズ増に民間の増設が追いついていないが、今後も民間を誘致していく

*民間では追いつかないと認めた。ならば、公立での増設に全力をあげるべき。高学年の受入れを実現する市長の本気度が問われている

《災害対策の強化を》

①風水害を想定した地域防災計画の見直し。②避難所として、小学校も含めた体育館へのエアコン設置、段ボールベッドなどの必要な備蓄品の見直しなど、災害対策の強化を求めた。

《新庁舎基本計画策定は必要な時間をかけて》策定は3月までの予定だが、具体的な検討は進まず、市民参加もこれから。スケジュールありきで進めるべきでない」と求めた。

*その他にも、待機児童の解消を求めた。

日本共産党国分寺市議団
中山 こう



学童保育所 高学年(4~6年生)の定員確保目標

現在の計画	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
高学年	16	16	200	400	628
次期の計画案	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
高学年	4	0	0	0	0

市が提出した資料をもとに作成

教員の働き方、移動の支援、難聴支援等

＜小中学校教員の働き方について＞

岡部：根本問題は教員の人数を増やすことでは。

答弁：定数は都が決める。定数増を図ってほしいので、都や国にも引き続き申し入れる。

岡部：国が学校現場に変形労働時間制を導入しようとしている。夏休み等にまとめて休みを取る代わりに平常時には定時を延ばすというもの。市として夏休み中の勤務実態を把握すべき。

答弁：今後のあり方の参考とさせていただきます。

＜児童・生徒のオリ・パラの観戦について＞

岡部：観戦計画の概要は。

答弁：各学校の希望を調査した。公立小中学校15校全校、全学年で観戦に行く予定。

岡部：児童生徒が一律に行くとなったらどれだけ意義があるのか。受験勉強や部活動に時間を割きたいという児童生徒もいる。一律ではなく希望する児童生徒が行くという形にすべき。

答弁：一律に行かせるという話ではない。そういう機会・場を確保したいという思いだ。

＜ぶんバスに留まらない住民の移動の支援を＞

岡部：内藤は行政サービスが届きにくい地域で、特に高齢者にその問題が顕在化している。移動の支援の要望を持っている住民の方と対話の機会を持ったりアンケート調査を行う必要があるのでは。

答弁：今でも地域の方々のお声は聞いていると

日本共産党国分寺市議団
岡部 宏章



ところで、引き続きお話ししていきたい。アンケートの実施については研究させて頂く。

＜難聴支援について＞

岡部：コミュニケーション障害を取り除く上で補聴器の普及が待たれている。しかし、価格が高かったり、購入後も調整や慣れるためのトレーニングが必要であるなどハードルが高い。国分寺市でもぜひ補助制度を考えて頂きたい。

答弁：相当な予算を伴うことになる。現時点での実施は難しい。

※他、保育園の給食費について質問しました。

戸倉公園の早期整備を／障がい児保育の拡充

☆「戸倉公園」の1日でも早い実現に向けて

星）戸倉公園の範囲を示す「網かけ」は、昭和37年に建設省が決めたもの。江戸時代からある神社までもが範囲に含まれている。仮に、寺社を範囲から除外する場合、その面積分の代替地の「網かけ」が必要とされる。それでは公園の実現までに更に時間を要する。「網かけ」面積縮小の許可など、「範囲を決定した国に協力を求めるべき」との要望をお受けした。

市）網かけ範囲内のそうした課題は他市も抱えているため、東京都及び市区町で公園緑地計画を見直す判断基準の整理を議論している。来年度初めに結論が出るので、これを受けて本市も

見直しの整理を行っていく。

☆「先行取得地」を子どもたちの遊び場に

星）国分寺市土地開発公社が、将来の戸倉公園の一部として先行取得した用地は立入禁止の「空き地」になっている。ここを「広場」として暫定的に子どもたちに使わせていただきたい。

市）公園を目的に土地開発公社が購入した土地を同じ目的で暫定的に利用してしまうと、その部分が補助金の対象外とされてしまうことから、非常に難しいと考える。

星）その答弁を地域のみなさんと相談したいので、補助金に関する根拠資料を求める。

☆障がい児保育への人件費補助金の拡充を

国分寺政策市民フォーラム
星 いつろう



星）「全保育所で障がい児保育の実施を」との要望を会派でお受けした。そのために障がい児保育への「補助金の見直し」を求める。なぜなら、障がい児を複数人受け入れている保育所では、その保育にあたる加配の常勤保育士人件費と公的補助金が見合わず、これ以上の受け入れが難しくなっているとの声をお聞きしたから。

市）障がい児対応の保育士を採用するものの、対象児童が途中で退園した場合の当該保育士の雇用継続といった課題は把握している。補助のあり方の検討は必要であると考えている。

子どもたちの心身を育む食の安全を！

◆「学校給食食材選定基準」は「遺伝子組み換え食品ではないこと」など、安全な食材を納入するための注意事項が細かく定められているが、新たな「ゲノム編集食品」は安全性に懸念がある。表示義務がなく課題だが、給食に使わない対策を！⇒栄養士会等で情報共有、勉強会等行いながら納入業者にも伝えていく◆公設学童保育所の三季休業中の昼食について、給食や弁当を望む声が多いが課題は？⇒外注の場合、発注や金銭の受け渡し等の事務に係る負担が課題（問）市内には、地場野菜を使った弁当やパンの供給、配送に取り組む団体が複数ある。学童職員の負担にならない方法で、昼食の提供ができないか

相談してはどうか。また、給食の試行的な実施についても調査を求める⇒関係団体や教育委員会との調整が必要だが可能性を探ってみる。調達の仕方や事務負担の少ない手法を他市の事例など研究しながら考えたい◆ペットボトルの戸別収集開始と同時に拠点収集は廃止し、有料化は収集の状況や経費など全てを明らかにし市民と十分に検討すべき⇒説明会等を実施し、ご意見を伺っていく◆台風19号の経験から、雨風が強くなる前の早めの避難所開設の検討を求める⇒自主避難所の選定、開設の基準、開設時間、避難開始時間等を速やかに検討する（問）国分寺高校は避難所開設できなかった。高校との連

無会派(国分寺・生活者ネットワーク)
高瀬 かおる



携体制や学校管理運営班がどのように組織されているのか等、再確認を求める。都立であるがゆえに意識的に協議や交流の場を持つ必要がある⇒平常時からの顔の見える関係づくりに向けて、地域の方々と高校との連携も模索する。

◆ひとり親家庭への支援として、民間団体の取り組みを積極的に調査し、対象者に的確に情報提供するように求める。学校入学時に準備費用としてお祝い金を出す団体もある⇒民間の支援事業に関する情報収集に努め、これらの情報を適切かつ効果的にお知らせできるよう検討する。